

第3回社会保障審議会 人口構造の変化に関する特別部会	資料1
平成19年 1月19日	

## 日本の将来推計人口

## 将来推計人口(平成18年推計)の概要

- 将来推計人口は、社会保障・人口問題研究所が、国勢調査等の客観的データに基づき、概ね5年ごとに将来の人口を推計。
- 今回の推計は平成17年国勢調査結果に基づき、2055年までの日本の人口を推計。  
(参考推計として、2105年まで推計)

### 合計特殊出生率の仮定

(2005)		(2055)
1. 2 6	➡	高位 1. 5 5 <1. 63> 中位 1. 2 6 <1. 39> 低位 1. 0 6 <1. 10>

※ <>内は前回推計(H14)の2050年の仮定値

非婚化、晩婚化の進行により、合計特殊出生率は、前回推計の仮定より低下。

### 平均寿命の仮定

(2005)		(2055)
男 78. 53歳 女 85. 49歳	➡	中位 男 83. 67 <80. 95> 女 90. 34 <89. 22>

※ <>内は前回推計(H14)の2050年の仮定値

### 将来推計人口(平成18年中位推計)の結果

#### 日本の総人口

2005年                      2055年  
1 億2, 777万人    →    8, 993万人

#### 老年人口(65歳以上)

2, 576万人    →    3, 646万人  
[20. 2%]                      [40. 5%]

#### 生産年齢人口(15~64歳)

8, 442万人    →    4, 595万人  
[66. 1%]                      [51. 1%]

#### 年少人口(0~14歳)

1, 759万人    →    752万人  
[13. 8%]                      [8. 4%]

### 前回推計(H14中位)の結果

#### 日本の総人口

2000年                      2050年  
1 億2, 693万人    →    1 億 59万人

#### 老年人口(65歳以上)

2, 204万人 [17. 4%]    →    3, 586万人 [35. 7%]

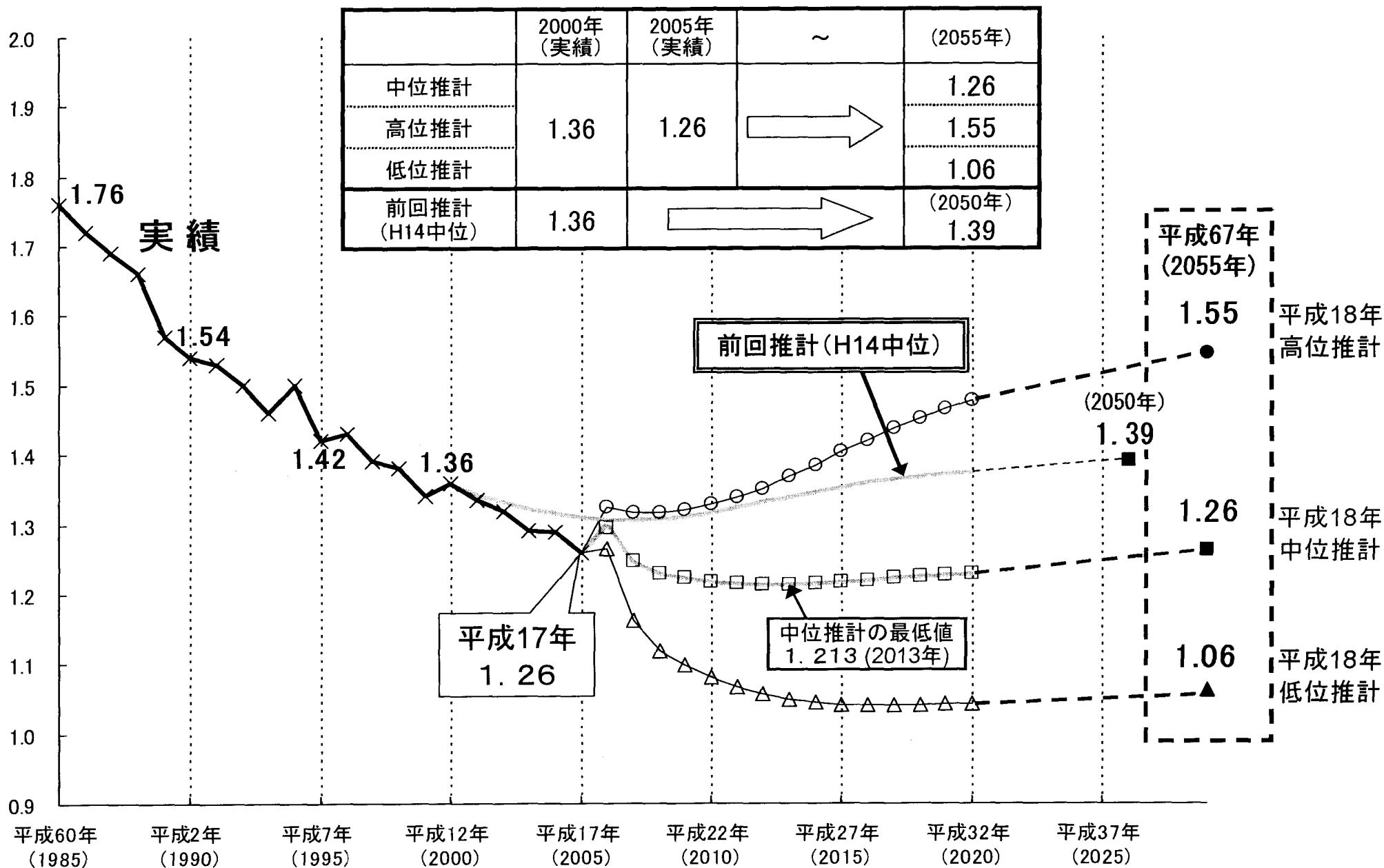
#### 生産年齢人口(15~64歳)

8, 638万人 [68. 1%]    →    5, 389万人 [53. 6%]

#### 年少人口(0~14歳)

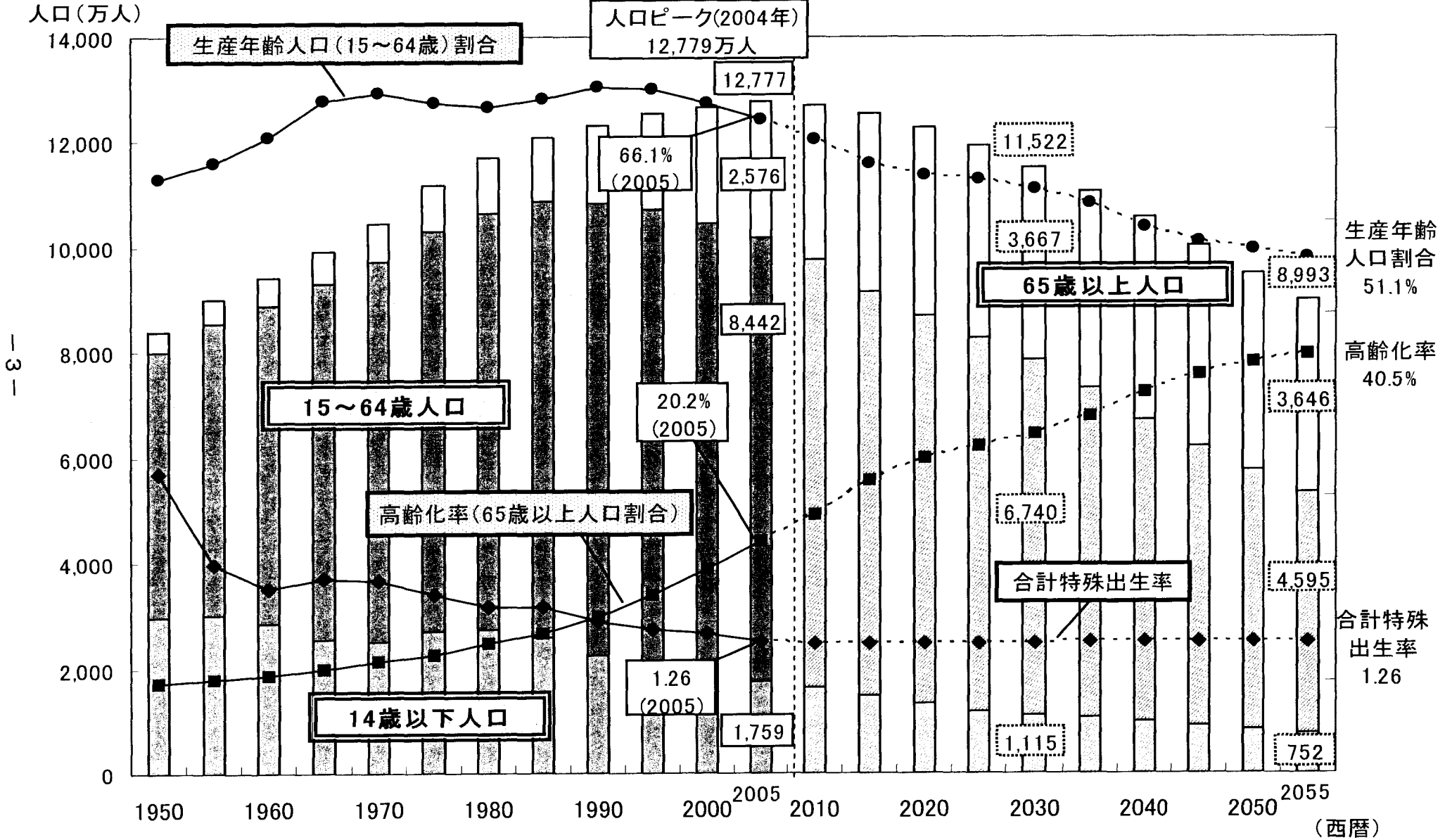
1, 851万人 [14. 6%]    →    1, 084万人 [10. 8%]

# 合計特殊出生率の推移と将来人口推計(平成18年推計)における仮定値



# 我が国の人口の推移

← 実績値 (国勢調査)      平成18年推計値 (日本の将来人口推計) →



資料: 2005年までは総務省統計局「国勢調査」、2010年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)中位推計」